

令和3年度3月24日(木) 10:00~

1. 活動報告

1) 要介護度別人数、月別利用者人数

上半期	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実利用者	2	7	7	8	11	17
訪看併用者	0	2	2	4	5	6
派遣回数	96	473	435	345	493	728
延時間数	43.5	197	173.5	138	189	292
介護度平均	1.7	2.5	2.7	2.2	2.2	2.2

下半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者	16	17	16	16	13	
訪看併用者	6	5	5	6	6	
派遣回数	985	991	943	800	686	
延時間数	405.5	405	387.5	312	250.5	
介護度平均	2.5	2.4	2.6	2.2	2.1	

2) 訪問エリア

3) CASE 報告と特徴

2. 訪問看護事業所との連携報告

3. 居宅介護支援事業所 ケアマネージャーからの提言

4. 自己評価・外部評価について

以上

開催日時 : 2022年 3月 24日 (木) 10:00~11:00

開催方法 : オンライン (ZOOM) 会議

<https://us02web.zoom.us/j/84719897047?pwd=MUVSQ2I2bIBUYndHT3kzWmFNNVdhZz09>

ミーティング ID: 847 1989 7047

パスコード: 895335

会議参加者	: 水戸市介護保険課	課長	荻沼様
	居宅介護支援事業所ヘルサ	管理者	青柳様
	訪問看護ステーション虹	所長	田寺様
	南部第一高齢者支援センター	主任ケアマネジャー	岡山
	ケアハウスみと	グループ統括責任者	早瀬
	定巡ステーションけやき	所長	大和田
		副主任	古内

議 題

1. 定巡ステーション活動報告 別紙資料 ご参照ください
要介護度別人数、月別利用者人数
訪問エリア
・東前町から大塚町
CASE 紹介と特徴
・2月現在でトータル24名の契約 (内部居宅8名 外部居宅16名)
・通常の訪問介護では算定が難しい認知症の方への安否確認。
今後は掃除などもう一段階踏み込んだご支援をしていく。
・認知症独居の方の訪問工夫、ターミナル、看取りのケース紹介。
2. 訪問看護との連携
・情報交換など連携は上手に取れている。
・週1回30分程度の訪問が目安であるが、ケアの時間がなかなか30分では終わらない現状。
3. 居宅介護支援事業所 ケアマネージャーからの提言
・事業所として地震など災害時の緊急時の安否確認どのような対応していただけるのか。
電話での安否確認で連絡がつかない方は実際に訪問して安否確認行っている。
・非難が必要になった時はケアハウスへの非難も頭に置き要介護の目線で判断する。
・タブレットになり、CMなどがサービス時の様子や内容がなかなか見えにくい。
連携ノートか介護看護のメルタスの活用の重要性。

4. 自己評価・外部評価

- ・コロナ渦のこともあり、なかなか対面での外部研修に参加できず、リモートでの研修参加など。接遇や技術などで職員のスキルの差でてしまうことがあった。
- ・研修に参加することで、スキルUPに繋がり、離職しない職場づくり。
- ・ヘルパーさんが来てくれることで安心するとの声も上がっていた。
- ・次年度は満足度調査を実施してよりよいサービスに繋げていく。

5. 質疑・応答

- ・CMに制度や使い方を説明し、アセスメントをした上で適切な判断し回数・内容を決めていくサービスであることを理解して頂けるように発信していきます。(支援センター)

6. 水戸市介護保険課からの助言・総括

- ・自己評価を実施したことで職員一人ひとりが課題見つけ、一つずつ改善していきサービスの質を上げてほしい。
- ・自己評価表実施の場合は、今回の自己評価のやり方を継続して無記名で行ってください。
- ・在宅を支えるためには大事なサービスですので、引き続き頑張ってください。

以上

次回開催（予定） 後日ご案内